

7月13日(土)

会場	300号室	412号室	413号室	414号室	502号室	514号室
8:30-9:00	受付					
9:00-10:15	野邊 春陽 トマス・アキナスにおける思弁理性と実践理性の関連について 司会:中西 捷渡			朱 喜哲 「ニュー」vs「ネオ」——プラグマティズム論争とは何だったのか? 司会:和泉 悠	平野 立輝 個性性の現象学 司会:富山 豊	池田 信虎 M・フーコーにおける規律された主体から統治の主体への道程について 司会:西川 耕平
10:20-11:35	住吉 燦史郎 デカルト形而上学における限定されたコギト 司会:三浦 隼暉			小田 拓弥 メタ言語的交渉とその射程 司会:朱 喜哲	山崎 諒 ハイデガーの「還元」と「形式的告示」——何が保留されるのか? Was/Wieという観点から—— 司会:丸山 文隆	氏原 賢人 「エレホン」としての概念との出会い——『差異と反復』の「超越論的経験論」について—— 司会:鈴木 亘
11:35-12:20	昼食休憩					
12:20-13:35	笹谷 賢人 デカルト『省察』における明晰判明性の一般規則 司会:福岡 大志	浦野 敬介 「規範性の問い」(Normative Questions)のバリエーション 司会:石井 雅巳	後藤 真理子 HPC種としての精神疾患の存在論的身分に関する諸検討 司会:木下 頌子	遠藤 進平 織りこめ:よい理論に向かつて 司会:高取 正大	丸山 望実 ヒューバート・ドレイファス、チャールズ・テイラー『実在論を立て直す』における「接触説」の擁護と考察 司会:飯泉 佑介	堀江 郁智 ステイグレールのシモンドン理解における超個性性=横断個性性の概念 司会:池田 信虎
13:40-14:55	三浦 隼暉 生物身体すなわち水力-気力-火力の機械 ライブニッツ生物身体論の機能主義と本質主義 司会:池田 真治	中西 捷渡 セネカの道徳論におけるclementiaの位置づけ 司会:山下 大喜	野村 聡 化学哲学で議論される原子・分子の還元可能性について 司会:後藤 真理子	豊泉 俊大 グッドマンの非実在論についての一考察 司会:高田 敦史	崎山 英俊 ハーバーマスの世界共和国否定論とその問題 司会:原 健一	南 匠真 ドゥルーズ初期の性理論 司会:氏原 賢人
15:00-18:00	テーマレクチャー(416号室) メタ哲学 笠木 雅史・村山 達也					
18:30-20:30	懇親会					

7月14日(日)

会場	103号室	107号室	300号室	410号室	411号室	502号室	514号室
9:00-9:40	受付						
9:40-10:55	濱本 鴻志 ルース・ミリックの表象の理論について 司会: 田中 凌	山野 弘樹 フィクションを創造すること——『時間と物語』における「フィクションの歴史化」概念をめぐる—— 司会: 森 功次	川辺 春希 ハイデガー『存在と時間』における世界の超越論的解釈 司会: 丸山 文隆	飯泉 佑介 精神の自己知へ——ヘーゲル『精神現象学』の精神章について 司会: 岩本 智孝	笹倉 暢之 ナンセンスの厳格な捉え方は治療的哲学にどのように寄与しうるか 司会: 榎野 沙央理	福井 有人 秘密、あるいは精神分析の未来——デリダ『アーカイヴの悪＝病』におけるフロイトとメシアニズムについて—— 司会: 伊藤 潤一郎	藤原 諒祐 心の哲学における消去主義の妥当性について 司会: 過能 洋平
11:00-12:15	松井 隆明 Inferentialism and Semantic Externalism: The Neglected Sellars-Putnam Debate 司会: 田中 凌	銭 清弘 不気味な写真の美学 司会: 青田 麻未	小林 昌平 ハイデガーにおける「気分」と「メタ存在論」 司会: 宮田 晃碩	多賀谷 誠 「取り込みテーゼ」と唯物論反駁——アリストンによるカント道徳心理学解釈の検討 司会: 五十嵐 涼介	溝越 大泰 「ツルツルした氷」から「ガラガラした大地」へ——『論理哲学論考』を離れ『哲学探究』に伏す語りえないもの—— 司会: 榎野 沙央理	井上 卓也 ジョン・フォレスターと精神分析 司会: 堀江 郁智	鈴木 大翔 知覚経験における概念能力の働き——ジョン・マクダウェルの『心と世界』を中心に—— 司会: 小倉 翔
12:15-13:30	昼食休憩						
13:30-14:45	松本 将平 知覚的信念の正当化に関するウィルフリド・セラーズの説を擁護する 司会: 濱本 鴻志	難波 優輝 ポルノグラフィをたたくわらうと言うためには何を明らかにすべきなのか 司会: 松永 伸司	/	福地 信哉 『純粹理性批判』第二版演繹論における量カテゴリーの客観的妥当性 司会: 辻 麻衣子	小森 勇輝 ウィトゲンシュタインの「私的言語論」——「感覚日記」の事例を中心に—— 司会: 溝越 大泰	(ワークショップ) ジャック・デリダの初期思想を読む	川村 勇貴 反応的態度説における道徳的責任の批判可能性について 司会: 浦野 敬介
14:50-16:05 (WS-15:30)	田中 凌 意味についての知識?——合理主義的直感と経験科学的見解との調停—— 司会: 松井 隆明	岩本 智孝 仮象/現実の相互浸透としての言語芸術——カッシーラーとプルーソフ—— 司会: 岡 俊一郎	/	山下 大喜 哲学方法論史からみた胡適思想の系譜 司会: 長門 裕介	/		櫻田 裕紀 宗利 風也 伊藤 潤一郎
16:10-17:00	全体会(502号室)						